



かえでゆうびん 1月号

2022年1月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園 かえで保育園
園長 引地 美津代

明けましておめでとうございます。2022年が始まります。コロナ・というキーワードに悩まされながらの年明けになりましたが、元気いっぱいの子どもたちの笑い声ややってみようという気持ちを糧に皆さまと共に進んでいきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月22日には「かえでフェスティバル」が待っています。フェスティバルは皆がわくわくして一日楽しめることを目的として行います。幼児の部屋には小さなアートコーナーがあります。ぱっと思いついたとき、その場所に行って作品作りに没頭します。子どもは経験した時がまさにやりたい時。白い紙があれば絵で表現・絵の具や色鉛筆・クレヨンがあれば色を。廃材を使ってそのお子さまの思いで描いたり、のりやボンドで貼ったりして作り上げています。大好きなドングリや葉っぱ・まつぼっくり・公園で見つけた枝・石ころ……

全てのものが子どもにとっては宝物となります。今年はどうなるのでしょうか？楽しみです。どうぞ、お子様の一年の成長を喜びとともに家族同様共に過ごしてきたお友だちの成長も分かち合う日にして頂ければと思います。コロナ禍の中で子どもたちは過ごしていますので、できる限り思いをかなえてあげたい精神で計画をしてくれています。そんな生活やオモシロ発見がたくさん披露できる日としてご参加ください。

今まで行ってきました一年の締めくくりの成長発表会は「かえでフェスティバル」として新たに進めていきます。上手にできることを披露することが目的ではありません。表現する事を楽しんで計画をしてくれています。

小学校に上がるとどうしても評価されます。大人になって社会の基準ももっと厳しく評価されます。この教育はもう30年ほど前から教育の中に「みんな違ってみんないい」と金子みすずさんの詩が小学校の教科書にも取り上げられ、「皆で認め合おう教育」が進んでいくはずでしたが、残念ながらその教育は浸透できていません。保育園では「～しないから～できない」「Aちゃんができるのにあなたはなぜできない」「こうしないとしないよ」などの先が見えなくなる言葉がけはしない教育・保育を進めています。大人のちょっとした言動が子どもの心を動かします。私たち大人の言葉は子どもにとって時には落としてしまったり導きになったりします。フェスティバルはお祭りを意味します。1月22日がうれしい楽しいわくわくした1日になりますように・

年末に一人の卒園生が上着の中にそっと隠して持ってきてくれました。

「縄跳び大会優勝」と書かれた小さなトロフィでした。保育園時代も努力家でコツコツ物事を進め、自分が納得するまで取り組んでいました。

あまり自分の気持ちを出せない時期もありましたが、最終の年長時には「あれもしたい」

「こうしたい」「こうしようよ」と友達に提案できるようにもなってくれました。あのコツコツ取り組む姿があったからこそ自信につながり、やれない気持ちがやってみようという気持ちに変わり、自信につながってくれて「自分を信じる力」が育ってくれたとうれしく思いました。

保育園から小学校に進み、必ず通らないといけない「評価社会」が待っています。上手いかなかった時や自分が迷った時こそ、自分らしくいられる事を大切にできる人に育ってほしいと思っております。

12月になって、幼児だけでなくそれぞれのお子様も4月とはまた違った姿を見せてくれています。乳児クラスでは階段をスムーズに降りれるようになった子、鉄棒にぶら下がったり、丸太橋を渡ろうとする子、

つぼみさんは道具を使っての野球もどきで楽しんでいます。いぶきも自分のやりたいことが見つかってきています。すごいパワーです！

ひかりはだいちになる気持ちが芽生え、だいちへの憧れが膨れ上がっています。

そしてだいちのやりたいことが満載で毎日が忙しそうです。

子どもたちの「やる気・元気！」に私たち保育者もできるだけ応えていけるよう視野を広げて保育・教育を進めていきます。

2022年が明るく希望多い一年になりますように……



新しい年が明けました。みなさま新年はどのようにお過ごしでしょうか。

この先コロナが終息することはあるのでしょうか。次から次へとウイルスの変異が起これんなにも流行するとは思ってもみませんでした。

誰しもがマスクをしていることが当たり前の生活となり、小さな子どもたちは家族の人以外はマスクをしているのが当然の事として育っています。保育者がマスクをしていることが子どもの言葉の習得に影響は出ないのか？言葉や表情の習得にはどのような工夫が必要なのかと話し合いをもちましたがなかなか答えは出ません。

表現や言語力を育てていくには、他者の口の動きで言葉を覚えたり、表情の変化だったりは何より大切なことだと思っていましたが、最近、子どもたちの表情を見ていると聴くことに夢中になっている姿が多いように感じます。人の話を理解するには、相手の話に耳を傾け、目を見てということが大切です。

小さなクラスの子どもたちも保育者が話しかけているときにも耳を澄まして静かに聴いています。

マスクをすることがマイナスなことばかりではありません。

これからも様々な気づきと向き合いながら子どもたちの成長を見守っていきたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

主幹保育教諭 藤森寿美

寒さが厳しくなり、お鍋やおでんなど温かい食べ物が恋しい季節となりましたね。子どもたちにも今の時期だからこそ味わえる冬の食材や、身体を温めてくれる料理、昔から大切にされている季節の行事について知ってもらえるよう、こっそりと小さな仕掛けをしています。

玄関には季節や行事に合わせた絵本を置いているのですが、毎回どの絵本にしようか、そしてどのページを開いておこうかと、子どもたちの目にとまる場面を想像しわくわくしながら選んでいます。

中でも“いわむらかずおさん”が描く世界は、繊細で、温かく、季節の色で溢れています。

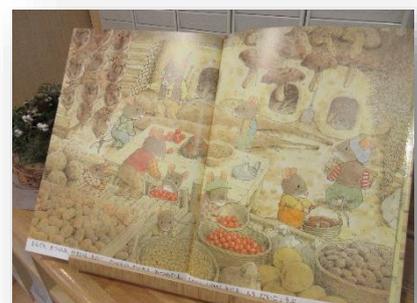
ある日の朝のこと、“このページがいいかな…”と選び開いて置いていたのですが、夕方にふと目を配ると、別のページが開いていました。続きが読みたくなりページをめくったのか、別のページの方が魅力的に感じたのか…意図は分かりませんでしたが、ページをめくったその子の目に止まり、手にとった姿を想像すると、何だか微笑ましい気持ちになりました。

ランチルームに飾っている季節の食材の写真を見ては、「これ美味しいよね」「きょうのご飯に入ってたよ」友だちと言葉を交わしたり、お部屋に掲示しているししまいを見つけて絵を描いてみたり、

小さな仕掛けによって、少しでも子どもたちの経験や世界が広がってくれればと思っています。あまりにもこっそりとしていて、仕掛けを誰にも気付いてもらえないこともあります…。

これからも小さな仕掛けを散りばめていきたいと思います。

主幹保育教諭 河本彩奈



～めばえぐみ～

ねらい：『園庭で身体を動かして遊ぶ』『友達と一緒に楽しむ』

うた：『むすんでひらいて』『まめまき』 わらべうた：『おてぶしてぶし』『てんやのおもち』

寒い日が続いていますが、帽子を見ると“外にでたい”と園庭を指さして帽子を自分で被ろうとしています。階段をのぼってすべり台から顔を覗かせて、繰り返し滑ることを楽しみ、すべり終わると上から滑り降りてくる友だちに『おいで～』と手招きをして降りる様子を見えています。目が合うと笑いあう姿も増え、友だちを少しずつ意識するようになりました。友達との距離感が以前よりもより近く友だちが遊ぶ様子をじっと観察し、真似をして同じ空間を楽しんでいます。

“お部屋の模様替え”

はいはいや歩くことを楽しめるような空間からバランスボードを繋げて端からゆっくり登ることや、友だちと座って乗り物に見立てて楽しむことも増えてきました。それに合わせてお部屋の模様替えをしました。朝夕方はふたば組の部屋でスプーンを持ってお鍋を混ぜることを楽しんでいた子ども達の姿もあり、棚で空間を分けてままごとコーナーやお世話コーナーを常設しました。お皿や小さなお手玉を用意し、弁当箱の蓋や巾着の開け閉め等、遊びの中で指先を意識して使う道具を取り入れています。『いただきま～す』の言葉に合わせて『おいしい』と食べる真似をしたり、お皿にお手玉を乗せて先生や友だちに“どうぞ”と口元まで運んで差し出してくれたり、口を開けて“もぐもぐ”と口元を動かして食べる真似をしながら楽しんでいます。壁面に隠れている動物の写真をめくり、動物の名前が出てくると“ここにあったよね…”というように写真を探すようにめくっています。動物が見つかったと嬉しそうな表情で“あったよ”と振り向いて教えて、指先の使い方、力の入れ方、持ち方、観察をして真似をすること等、遊び方もより豊かになってきています。



“ぱりぱり、ふわふわ、ほい！”

秋から園庭や散歩先で拾ったどんぐり、松ぼっくり、落ち葉を使って感触あそびを続けてきました。落ち葉を手に取り、指先を使って細かくちぎる子もいれば、たくさんの落ち葉を両手で掴んで「ほい！」と投げてひらひら落ちる葉っぱを嬉しそうに眺める子と様々です。たくさんの落ち葉に一歩足を入れた時の



『くしゃ』の音に目を輝かせて足をしっかり上げて歩き、音を楽しんでいました。以前、園庭の落ち葉で遊んでいるめばえ組の子ども達を見て、よくお世話に来てくれるだいち組の子が「めばえさんにどうぞ」と園外先で拾った落ち葉をたくさんお土産に持ってきてくれました。「〇〇ちゃんこの色が好きかな～」「この形も可愛いんだよ」と落ち葉を拾いながらと話してくれました。そんな心のこもったお土産も散りばめられた、楽しい気持ちがたくさん詰まった作品になりました。

“担任の思い”

毎朝園庭に出る前は絵本を見ることが習慣になり『ペンギン体操』は子ども達が大好きな絵本の1つで、読み始める時には必ずペンギンのぬいぐるみを持ってきて一緒に見えています。最近では絵本を持つだけで“はっ！”と気が付きいつもの場所で座って待っていてくれます。少しずつ子ども達の習慣ができ、動きや言葉で一生懸命伝えようとしてくれる姿がなんとも可愛いです。友だちが泣いているとそっと近寄って顔をのぞき、頭を撫でようと友だちを思う姿が見られます。お兄さんお姉さんが優しく撫でてくれた温かさをしっかり覚えているように感じました。その優しさや温かさを感じながらめばえ組での3ヶ月を共に過ごしていきたいです。

～ふたばぐみ～

ねらい：『お友達と一緒に遊ぶ時間を楽しむ』『体を動かして元気に過ごす』

うた：『おにのパンツ』『まめまき』『おもちゃのチャチャチャ』 わらべうた：『かんできわって』『せんべ』

「〇〇ちゃんは？〇〇くんは？」とお友だちのことを気にかけて過ごす子どもが増えてきました。お友達と同じようにおもちゃを持ってきたり、隣に座って遊び笑い合ったりしている姿を見るとほっこりします。服を着替えたり、エプロンをつけてご飯を食べる用意をしたりと自分でできることも沢山増えてきました。できるところは任せつつ、難しいところをさりげなくお手伝いしながら「自分でできたよ」の経験をたくさんしているこどもたちです。

“ラディッシュ収穫”

一度たくさん生えてきた葉を間引いて食べましたが、今度はラディッシュができたのでみんなで収穫しました。どの葉っぱにしようかなとそれぞれに選び「よいしょ」と引っ張っていました。様々な大きさのラディッシュが収穫できました。3色ラディッシュという種類だったので赤や白など色も様々でした。「うわぁ」と興味津々で自分で収穫したラディッシュを見ていました。収穫できたものは調理室に持っていき、葉っぱもラディッシュもナムルにしてもらいお昼ご飯に食べました。「これなに？ラディッシュ？」「おいしいね」とお話ししながら美味しくいただきました。



“おにぎりくんがねの絵本からおにぎり屋さん”

絵本「おにぎりくんがね」が大好きな子どもたち。ページをめくると保育者よりも先に「よいしょ、よいしょ。しんぱいごむよう！」など絵本の言葉を言っています。そして「おにぎりたべたいな…」とリクエストに応え藤森先生に教えてもらいながらおにぎり屋さんをすることにしました。まずは「1、2・・・」とみんなで数えながらお釜に計量カップで測ったお米をいれていきました。お水を入れて、蓋を閉めてしばらく待っている間にはおかか作り。温められたおかかが踊っている様子を見たり、醤油を入れた時の匂いを嗅いだりしました。湯気が上がるとみんなで天井を見上げて「もくもくー」と言っている姿が微笑ましかったです。炊飯器にスイッチを入れるとお昼ご飯の時間まで待ち遠しそうに待っていました。この日は全員で一緒にお昼ご飯を食べました。目の前でおにぎりを作ってもらおうと「おにぎりちょうだい」と早く食べたくて目が離せずいました。おにぎりを一つずつもらうとにこっと笑い「おいしー」。幸せそうな表情を見せてくれました。普段はあまり白ご飯が好きではない子ども、食べる量が少ない子ども「おかわり」とたくさん食べていました。おにぎりの本から実際に体験することで様々な興味が持てました。次は何の具でおにぎりをしようかなと保育者もワクワクしながら計画しています。



“お部屋を模様替え”

ままごとで遊ぶ子どもが増え、友達とも関わりながらあそべるようお部屋の模様替えを行いました。丸い机を囲みお友達と並んで遊ぶ姿がよく見られます。お皿に具材をいれてコップとスプーンも並べて「いただきます！」と手を合わせて挨拶をする姿も見られ、自分が経験したことや身近な大人の真似をして遊んでいます。



“担任の思い”

お友達との関わりの中で、お友達に「かして」と言われ少し考えてから持っていたおもちゃを貸してあげたり、隣にいるお友達を見ながら同じように遊んだりと様々な経験をしている姿が見られます。まだまだ子どもたち同士では上手くやり取りができないことも多いですが、保育者が仲立ちしながら関わりを見守っていきたいと思います。年が明けると進級もより目の前に感じられるようになってきました。楽しみな気持ちと少し寂しさを感じる気持ちもありますが、残りのふたば組の生活でも丁寧に生活を進め、子どもたちの気持ちに寄り添いながらたくさん楽しいことをして過ごしていきたいなと思います。

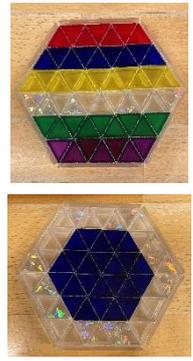
福井真裕子 立田瑛怜菜 松岡桃花

～つぼみぐみ～

ねらい：『自分の思いを伝え合い、一緒に遊ぶことを楽しむ』

うた：『ゆき』『まめまき』『雪のペンキ屋さん』

寒い時期がやって来ましたが、子ども達は毎日園庭で元気に遊んでいます。午前中に身体をよく動かせた日の夕方は室内で遊んで過ごすこともあり、子どもたちの中では「プリズモ」が人気です。元々は幼児のお部屋にあった玩具で、小さな三角形のプラスチックを六角形の型に埋めていく机上遊びの一つです。その三角形には様々な色があり、最初は自分の好きな色を型に入れて遊んでいましたが、最近ではサンタの柄を作ってみたりプリンセスの柄を表現してみたりと、子どもたち自身でイメージし、工夫して楽しんでいる姿が見られます。



～クリスマスツリーを作ろう！～

11月はみんなでドングリを使ったマラカス作りをしましたが、12月にはクリスマス！可愛いツリー作りをしました。バットの中に緑色の画用紙を入れ、赤、白、黄、青の色の絵の具とドングリを使い転がし絵をしました。最初はどのようにころがせばいいのかわからないつぼみさんでしたが、慣れてくると、この



色もっとしたい！と楽しむ姿が見られました。絵の具が乾いた後は綿やビーズを使って飾り付けをしました。ボンド

を使う製作は初めてで、「べたべたする～」「かたまつたよ～」と、慣れない感触にドキドキしている様子が見られました。また、作品を作り終わると嬉しそうに「ままにみせるんだ～」「ばばにみせるんだ～」と教えてくれました。数日後、ボンドが固まり完成したツリーを1階にある大きなツリーにみんなで飾り付けに行きました。他のクラスのお友達の作品も飾られており、「わたしはここにさざろ～」「これもかわいいね！」と、嬉しそうでした。



～だいじょうぶですか？～

つぼみ組では夏頃からお医者さんごっこが人気でしたが、最近では病院ごっこしようよ！に変わりました。病院ごっこではまず、芝生に倒れている友達を引っ張って救助することから始まります。「きゅうきゅうしゃです」「だいじょうぶですか～」と声を掛けて起こし、「おいで～」とめばえ組のテラス付近にある緑のたらいまで運びます。そこは子ども達にとっての病院であり、到着すると、「どこがいたいですか？」と診察が始まり、「すきなばんそうこうえらんでね～」「はい、もうなおりましたよ」とイメージを共有しながら会話のやり取りを楽しんでいます。これからも友達と遊ぶのが楽しい！と思えるような関わりを大切にしていきたいです。



“担任の思い”

つぼみ組では泣いている友だちがいないと、「ママがよかったの？」「どうしたの？」とその子に優しく尋ねたり、「せんせ～〇〇ちゃんがないてる！」と教えに来てくれます。又、傍でそっと頭を撫でてあげたりと友だちを思いやる行動がよく見られるようになりました。友だちの思いに寄り添う姿を見て、大きな成長を感じる日々です。子ども同士の関わりが増え、自分の思いを伝えることが増えた分、通じ合わず葛藤することや、通じ合って嬉しくなることもあります。そのような経験をたくさん積み重ね、子どもたちが成長していけるようこれからも見守ってまいります。

今井 奈沙 坪金 玲奈 小城 美紗

～いぶきぐみ～

ねらい：『ルールを守って友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る』

うた：『もちつき』『お正月』『たこ』

もう新しい一年が始まると思うと本当にあつという間で、幼児の部屋で過ごすことにドキドキしていた様子がつい最近のこのように感じます。異年齢で過ごすことで友だちやいろんな先生との関わりがとても深まったように思います。そうした関わりの中で相手の気持ちを考えることができるようになってきました。今相手はどんな気持ちでいるのかな？と考え、言葉で伝えることを大切にしてきました。これから始まる新しい一年も、相手を思いやる気持ちを大切にしながら過ごしていきたいです。

“いぶきがつくったみんなの木～冬～”



秋に「ふしぎなふしぎなまほうのき」という絵本の「まほうの木」を作ったいぶき組の子どもたちは、「みて、しろいいきがでる」と朝の園庭で寒さを感じたり、木についていた枯れ葉がほとんど落ちてきていることに気付いて、冬になったことを友だちと共有し合っていました。寒い冬がいぶきの木にも訪れたようで、ふしぎなことはいぶきがつくったみんなの木の枯れ葉も落ちてしまい、えだだけになってしまいました。



そんなある日、いぶきの木にゆきが降ってきました。そこで、いぶきのみんなでゆきの花を作ることに。コルクに白の絵の具を付けて、画用紙にスタンプをしてゆきの花を表現しました。「きれいだね」「ほんとうのゆきみたい」と完成したいぶきの木を見ながら、子どもたちで季節の変化を楽しみました。



“みんなであそぼう”



ある日、いぶき組とだいち組で散歩に出かけました。いつもは気の合う友だちと一緒に遊ぶことが多いいぶき組の子どもたちですが、散歩に出かけると男女関係なく鬼ごっこやリレー、体操をする姿が。

園庭では一度もいぶき組でリレーをすることが無かったため、初めてのいぶき組だけのリレーに子どもたちも、私自身もわくわくドキドキしていました。

始まる前に、ルールをみんなで確認し、「よーいどん！」の合図で音楽が流れ始め、二つのチームのリレーが始まりました。「〇〇ちゃんががんばれー」と友だちを応援する子どもたち。勝負が決まると「もういっかいしたい」「まけたけどめっちゃたのしかった」と勝ったチームも負けたチームも楽しかったようで、何回もリレーをして遊んでいました。友だちを応援し、力を合わせることで増えてきたいぶきさんです。



“担任の思い”

今いぶきさんは友だちと鬼ごっこやリレー、むっくりくまさんなど友だちと集団で遊ぶ姿が増えてきています。その集団遊びから、“周りを見る”“友だちを意識する”ことで子ども同士の関わりがさらに広がればと思います。友だちの関わりが増えると思いがなかなか伝わらず、悔しい気持ちになったり、悲しい気持ちになる時もあります。そんな時に言葉で自分の気持ちを伝える経験を重ね、友だちの大切さ、一緒に過ごせるうれしさを感じながら過ごして欲しいです。

～ひかりぐみ～

ねらい：『身体を動かして遊ぶ』『友達と一緒に表現することを楽しむ』

うた：『お正月』『もちつき』『たこ』

いよいよ新しい1年が始まりました。冷たい風が吹くと、「寒そうだな…」と外の様子をうかがっていますが、園庭からマスカットなど楽しい音楽が聞こえてくると、外へ駆けだして行き、踊っているひかり組。まただいち組と一緒にサッカーをしたり、鬼ごっこをしたりと身体を動かして遊んでいます。寒い冬も、一緒におもしろいことをたくさん見つけて、楽しく過ごしていきます。



“ともだちといっしょに”

先日、絵画遊びの中で友だちと一緒にひとつの作品を作りあげる機会がありました。テーマを伝えると、子どもたちだけでの話し合いが始まりました。「ここはだれが描く?」「この色使うとおもしろいよ。」などそれぞれの意見を伝えたり、聞いたり…。

子どもたちのイメージすることが、どんどんと表現されていき、おもしろい世界が出来ていきました。一人で作品を作り上げるのではなく、イメージを共有して表現する機会となりました。

普段のあそびの中でも、子ども同士で話し合ったり、ルールを確認し合う姿が見られるようになってきました。

一緒に過ごすことが互いに心地よく感じたり、一人ひとりの想いや考えに気付く機会を今後も大切にしていきます。



“もうすこしでだいち組!”

つぼみ組とのペアが決まり、散歩に行ったり関わるが増えたこともあってか、「もう少しでだいち組やから!」と嬉しそうに話してくれることが増えました。

ある日の夕方、だいち組が園外保育に出ている留守にしていた時、「困ったな、だいちさん今日いないし、お片付けどうしよう。」と話す時、「ほんとだ…。だいちさんいないとちょっと無理かも…。」「だいちさん来てくれないかな…。」と心細そうに話しかけると、「大丈夫だよ。ひかりさんにもできる!」と一人の子が言い出し、それからは互いに励まし合いながら、「だいちさん、いつもちゃんとボールの数を数えてからなおしてるよね。」など普段のだいち組がしている様子を思い出しながら片づけようとする姿も見られました。遊んでいる様子だけでなく、物を大切にしようとする姿勢もひかり組の子どもたちにも伝わっているように感じ、うれしく思いました。だいち組と一緒に過ごすことができるのも残り3ヶ月。たくさん関わって過ごして欲しいです。



“担任の思い”

あっという間に新しい年が始まりました。ついこの間ひかり組になったことを喜んでいただのように感じますが、次年度に向けての楽しみな気持ちも出てきたようですね。たくさんの人と関わり、心が育っていく様子を見るとうれしいです。かえでフェスティバルでは、今までかえでで過ごしてきたなかで、育ったこと、子どもたち自身がおもしろい、楽しいと感じていることを表現している様子を見て頂ければと思います。子どもたちの楽しい、おもしろいと感じることが、今年もたくさんありますように。

～だいちぐみ～

ねらい：『身の回りの整理整頓をする』『伝え方を考える』

うた：『もちつき』『たこ』『ちきゅうのシンフォニー』



“トライアスロン体験”

だいち組のトライアスロン体験の日、「トライアスロンってなに?」「はしったりするってきいたけど…」子どもたちには、あまり馴染みのない競技だったのか不思議そうな不安そうな声がたくさん聞こえてきました。今回のトライアスロン体験



は、シドニーオリンピック・アテネオリンピックに出場された西内洋行さんにご指導いただき、園庭で行われました。西内コーチとお会いして、いざ体験が始まると話をじっと聞いて真剣な表情で取り組んでいました。初めに決められたコースは築山をランニングし、ヘルメットをかぶってバイクを押し、どんぐりの木をぐるりと1周まわるといものでした。「誰かと競争するものじゃなくて自分の中で一番早くゴールする事が大事だよ」とコーチに教えてもらっただいちさん。そうは言ってもどうしても友だちより速く走りたい気持ちが勝ってしまい、隣を見ては歯を食いしばり急ぎ足に…。ヘルメットの付け外しが上手くできずに追い抜かれてしまうこともあり、回数を重ねる毎にみんなの顔は本気モードになっていきました。思い通りの結果にならず悔し涙を流しながらそれでも最後まで走りきる子、一生懸命頑張っている友だちを全力で応援する子。慣れてきたころには自分たちでルールを決めたり、次の人の手伝いもしたりと最後の最後まで一生懸命頑張りました。終わった後には、園庭で西内コーチと一緒に昼ご飯を食べました。子どもたちの達成感、充実感に満ちた笑顔がたくさん見られた1日となりました。

“4月から1年生”



秋頃から夙川や甲子園浜、武田尾と園外に出かけ、だいち組の大冒険が始まりました。園外へ出かけると行く先々で地域の人やおじいちゃんおばあちゃん、たくさんの人に出会いました。「こんにちは!」と自分から明るく挨拶ができる子も多く、様々な人に触れるいい機会になったように思います。そんなだいちさん、「なんさいですか」と毎回のように尋ねられ、年を答えるとほとんどの人から「4月から1年生になるんだね!」と声を掛けられました。4月まであとどのくらいだったかな、もうすぐで1年生ってことだねと子ども同士で少し照れくさそうに、嬉しそうに話をする姿が印象的でした。

保久良山では最初に配ったラムネを自分のタイミングで登山中に食べることや、寒さ暑さを上着で調整することなど自分で考えて管理をすることも経験しました。保育園でだいち組18人が揃って過ごす時間も残り3か月となりました。大冒険に出かけた経験に自信を持ち、就学に向けて楽しみな気持ちが膨らんでいくよう過ごしていきたいと思います。同時に、エルマーとりゅうへの思いもどんどん大きくなってきただいち組の子どもたち。

だいち組の大冒険はまだまだ続いていきます…



“担任の思い”

だいち組全員で“はないちもんめ”をしていた時のこと、徐々にヒートアップしみんなの勢いが増してきました。あまりに強く勢いをつけて迫ってくるから…と突然一人の子が泣き出してしまいました。すぐに近くにいた友だちが「どうしたの?」と声を掛けると、それまで夢中になっていた子もすぐに気が付き、全員が泣いてしまった子を心配そうにのぞき込んでいました。「どうしたのかな」「きいてみなきゃわからないね」とみんながじっと待っていたその光景に少し驚き、だいち組の間に流れる温かい空気にほっこりしました。毎日一緒に過ごしている友だちを一番近くで見ているからこそその表情や仲間として思いやる気持ちを強く感じる場面でした。だいち組18人で過ごしてきた4月からの9か月間、嬉しいことも悲しいことも、時には喧嘩もしてぶつかり合いながら過ごしてきた“仲間”という意識を強く感じました。互いに安心できる大切な仲間として残り3か月の保育園生活を過ごしてほしいと思います。

尾崎 美緒

～やきゅうしようぜ～

ひかり・だいちの男の子を中心に、野球部の練習が連日行われています。「野球セット取ってきて」「ぼくピッチャーするわ」「じゃあ一塁はここで…」と早々と準備が進んでいきます。準備が完了すると「先生～審判して～」と呼ばれ、その場に行くと「プレイボール！」の掛け声でゲームがスタートします。ピッチャーはバッターが打てる高さに投げ、バッターは飛んでくるボールを見て全力でバットを振ります。「ヒットや！」「一塁で止まって！」「いや。まだ行けるから走って！」同じチーム同士で声を掛け合っています。セーフかアウトか、きわどい時は審判が言いますが、子どもたち同士で判断してゲームは進んでいきます。室内でも野球盤で遊んでいるからか、3ストライクで1アウトになることや、ベースの位置なども子どもたちの頭に入っているようです。



ひかり・だいちのみんなが楽しそうに野球をしている姿を見て、いぶき組の子どもたちもグローブやボールを手に取り、キャッチボールをしていることも。野球ブームはまだまだこれから盛り上がりそうです。

～ひろーい！！～

12月14日と20日にGUNZE前にある白鹿の跡地の広場に遊びに行きました（特別に許可をもらっています）。保育園の園庭の何倍もある広さに、子ども達は大喜び！到着するや否や「甲子園球場よりひろいんちゃうん！」「あっちの端っこまで競争しよう！」「こっちから向こうまで声は聞こえるかな」とワクワクを友達と共有していました。先生の話聞いてから解散し、すぐに勢いよくそれぞれの遊びに走りだす子どもたち。きっと何で遊ぼうか考えるよりも体が先に動き出してしまったのだろーと思います。みんなで一斉に走り出し、その時の笑顔はとても印象的でした。



保育園から持ってきた縄跳びを使って波鬼ごっこをしたり、遠くに離れてサッカーボールを蹴ったり、大きく振りかぶってキャッチボールをしたり…普段園庭ではなかなか出来ない事を、全身を使って楽しみました。帰り際にはみんなで手を繋いで円になったり、一列に繋がって列車を作って歩いたりして幼児クラス全員での触れ合いも楽しみました。

“担任の思い”

2021年が終わり、いよいよ新しい年が始まります。みんなひとつ大きくなることを今からとても楽しみにしていますが、だいち組と一緒に過ごすことができるのも、残り少なくなってきました。普段の遊びはもちろんのこと、朝の集いやおやつ等、一緒に過ごすことのできる時間を大切にしてほしいです。また泣いていたり、困っていたりする友だちをみつけると「どうしたの？」と声を掛けに行き、子ども同士で話を聞いて助け合う姿も見られるようになってきました。友だち同士の関わりから共感し合えることや、一緒にいることの心地よさを感じ、信頼できる関係になっているんだなと思うと1年で子どもたちの成長を感じます。様々な経験から友だちとのやり取りを通して、感じた気持ち、友だちの温かさをこれからも大切にしていきたいと思います。

～先生コーナー～

新年あけましておめでとうございます。みなさま、お正月はいかがお過ごしですか。年末になると実家に帰省し、家族や親戚、地元の友達に会って積もる話に心が弾む、そんな正月の過ごし方が私にとっての楽しみでした。小さい時から高校生になるまでずっと一緒に育ってきた地元の友達は、すごく不思議でかけがえのない友達だなと感じます。地元に戻ることは、長期休暇や正月くらいでなかなか会う事は出来ませんが、会うとすぐに「久しぶり感」無く、まるで昨日も一緒にいたかのように居心地が良く、友達っていいなと毎年痛感しています。かえで保育園で過ごす子ども達も、大切な幼少期を一緒に過ごしてきたかけがえのない仲間としてお互いにいつまでも心落ち着く存在でいられたらいいなと思います。

尾崎 美緒

～お父さんコーナー～

「もう！ほんとに嫌だ！パパが遊んでってお願いしても、もうパパとは遊んであげないから！ほんとにそれでもいいの？」

私が注意したことに対して腹を立てた長女が怒って言うようになり、言葉が増えたなぁと驚くと同時に、ちょっと嫌われるの早すぎないか…とと思っている今日この頃です。

毎月、お父さんからのメッセージを密かに楽しみにしています。育休を取得された方の経験談、ご自身のお仕事の経験を踏まえ子どもの向き合い方を考えておられる方など、とても興味深いです。私の父は仕事などで家にいないことが多く、家事もほとんど母親がしていたように思います。他のお父さん方の寄稿も参考に、自分の中での父親像というか、子どもとの付き合い方を探っています。

さて、2人の娘の保育園への送りは私の担当ですが、毎朝、娘たちは「保育園行かない、もっと家で遊ぶ。」と徒党を組んで全力で抵抗してきます（なお、2人は決して保育園が嫌いなのわけではありません。）なだめすかしてもダメ、怒ってもダメ（冒頭参照。）…。そこで最近では、お願いだから保育園に行きませんかと拝み倒したり、行ってきますと先に出かけたふりをしてみたり、今日は手袋しようと思いを引いてみたり、娘たちがもっと大きくなったら、こうした光景も無くなるのだなと考えるようになり、今のこの時間も大切にしたいなと思えるようになってきました。

長女は春になったらいちさんになり、いよいよ保育園生活もラストイヤーです。今回、この原稿依頼をいただき、娘たちも私たちも、毎日を大切に過ごしていきたいなと改めて思いました。

保護者の方からのお話コーナー

性格も正反対で、いつもは喧嘩ばかりしている二人。先日、珍しく二人で何かしているなと思ったら、上の子が下の子の着替えを手伝っていました。なかなか袖から手が抜けず、グラグラ二人で大笑い。また、マスクットやジャンボリーミッキーを流すと、2人で一緒に踊り回っていました。

ふたば・ひかり組 ゆきさん

家で園でいつも歌っている歌やダンスを見せてくれます。いつの間にこんなことが出来るようになったのかと驚くことが多く、子どもの成長に親の方が追い付いていませんが、園での子どもの楽しそうな姿に仕事を頑張ろうと励まされます。

つぼみ組 なつこさん

先日、お迎えが一番最後になったことがありました。とても遅くなってしまい、先生や子どもに申し訳ないなと思いながら中に入ったのですが、先生が作品を飾っているのをしっかりお手伝いしている我が子の姿がありました。家では末っ子で甘えたがりでも園では先生の話を聞いているのだなと感心しました。先生方が根気強く子ども達と日々向き合ってくれているおかげだと思います。

いぶき組 ゆみこさん

兄弟でお世話になっているのですが、下の子が「あんぱんまん」の歌をよく歌っていて、いつも決まって最後のフレーズで、だいちゃんが歌う「まあるいいのち」の“たいせつないのち♪”で締めくくられます。それを聞いたたび、上の子と目を合わせて、微笑んでいます。

つぼみ・だい組 ゆきさん

入園して9か月。両親、子ども共に初体験ばかりで驚きの毎日です。お家では体験できないことを園で体験してお家でも教えていないのに突然できていて驚いていました。

園に行く事が良い刺激になって本人も楽しそうに毎日登園しています。

めばえ組 みつるさん

家の用事で園をお休みする日があり、「明日はお休みよー」と伝えると、「ペアの〇〇ちゃん、おやつ食べるのゆっくりだから、誰か他のだいちゃんに〇〇ちゃんのお手伝いお願いしないと…」と。みんなのおかげで周りの事を考えられる娘に成長しています。残り少ない日々、たくさんの思い出が出来るといいな。

だい組 ゆきこさん

☆お台所より☆

新年あけましておめでとうございます。

新しい年がスタートしました。

2022年も「食」を通して、子どもたちの健やかな健康を見守っていきたいと思います。

まだまだ寒い日が続きますので、1月も体がぽかぽかするような、具材たっぷりの汁物や、はくさい・かぶ・柑橘類といった、たくさんの旬の食材を取り入れたごはんや、子どもたちが楽しみにしてくれているおやつも工夫していきます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

～先月の食育活動の様子～

☆アメリカンドッグ

12月10日のおやつはアメリカンドッグを作りました。おやつの前からおいしにおいに誘われ、楽しみしてくれ、厨房のドアから中を覗いている子もいました。「あと何回寝たらアメリカンドッグ食べられる？」と聞いてくる子もいて、とても待ち遠しい様子でした。

かえで保育園ではウィンナーやベーコンは着色料を使用していない「無塩せき」のものを使用しています。ウィンナーに水で溶いたホットケーキミックスを絡ませ、油で揚げると完成です！揚げたてあつあつ

のものを「ふーふー」しながら食べていました。たくさんあったおかわりもあっという間になくなって、かえで保育園の子どもたちはごはんもおやつもいっぱい食べてくれてとても嬉しいです。



☆ゆず湯

12月23日に幼児さんはおやつにゆず湯を飲みました。昨年に続き、絞ったゆずと砂糖・お湯を混ぜたシンプルな飲み物ですが、「おいしい！」「甘酸っぱいね～」と酸っぱそうな顔をしている子もいましたが、美味しそうに飲んでくれて心がぽかぽかと嬉しかったです。しぼり終わった皮は、足湯にして楽しみました。1日遅れではありましたが、保育園でも冬至に関するごはんを提供できてよかったです。今後も季節ごとの行事食を大事にし、子どもたちと食を通して関わっていきたいと思います。

☆お楽しみ会・誕生日会

みんなが大好きなハンバーグ、コーンスープを作りました。つぶつぶ食感が楽しいコーンスープは先月に引き続き人気でした。また、ハンバーグにはチーズをトッピングしました。たくさんおかわりをしてくれました。そして子どもたちが楽しみにしてくれていたケーキには、いちごのみかん缶をのせた「フルーツケーキ」にしました。クリスマスが近いのでサンタさんの飾りをのせて、とっても可愛く出来上がり、素敵な「お楽しみ会」になりました。



～1月の献立で使用する旬の食材～

だいこん かぶ はくさい こまつな ブロccoli
ほうれんそう みかん りんご いよかん ぽんかん



【よい子ネット登録について】

- 兄弟姉妹がいるご家庭は、それぞれのお子さまの名前で登録ください。
- 『名前』の欄は保護者の方の名前ではなく、お子さまの名前で登録ください。
- 1月5日までに登録をお願いします。

【お弁当日のお知らせ】

- 1月4日・26日はお弁当日です。ご用意をお願いします。

こんなことしたよ♪

• おたのしみ会

12月22日にお楽しみ会がありました。

12月生まれのお友達の誕生日をお祝いした後、ピアノやハーブ、グロッケンなどの楽器を使って赤鼻のトナカイ、シングルベル、あわてんぼうのサンタクロースなどクリスマス曲を先生たちが演奏を聴きました

また、だいち組がキャンドルサービスを行い、優しいキャンドルの火を見つめながら胸に手を当てて心温まる時間を過ごしました。

大きなプレゼントの袋を持って理事長サンタと園長トナカイがやってきてくれました。各クラス素敵なプレゼントをもらって、子ども達は大喜びです。早速プレゼントを開けてみんなで楽しんでいました。



★お願い★

- オミクロン株が拡大してきました。少しでも風邪の症状がある場合は病院受診がないと保育を受けられません。体調不良で急遽、コロナに関するPCR・抗原検査などを受ける場合は必ず検査の前にお迎えにお越しください。
- できるだけ、人混みを避ける・短時間で切り上げる・大勢の会食は控えようご協力下さい。
- 登園後の体調の変化で連絡する場合があります。保護者の方の仕事がお休みの場合はできるだけ家庭保育、また休暇・自宅での仕事の場合は必ずお知らせください。
- お子さまの予防接種・受診は登園前ではなく、登園後またはお休みの日にお願いします。
- 降園時の申し送りは、密を避けるため短時間でいきます。ご了承ください。



1月の予定

- * 4日(火) **弁当日(全園児)**
- * 5日まで 冬期保育
- * 14日(金) 西宮市監査
- * 17日(月) 震災・防災訓練
- * 22日(土) かえでフェスティバル
 - 各時間帯は後日、お知らせいたします。
- * 26日(水) 雪あそび(ひかり・だいち) **弁当日(全園児)**
- * 13・20・27日 体操
 - 24日午後(月) だいちのみ体操
- * 7・31日 絵画
- * 28日(金) 月例健診

感染症の状況で変更・中止する場合があります

2月の予定

- * 3日(木) 節分・豆まき
- * 16日(水) おもちつき
- * 19日(土) 新入園児入園説明会